

高校生と大学生が
一緒に考える
肱川流域の未来

水害リスクを踏まえた vol.3 防災まちづくり 肱川流域編



～若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲をみらいへ～



肱川流域では、甚大な被害が発生した平成30年7月豪雨を契機として、緊急的な治水整備事業が実施され、令和6年5月末に河川激甚災害対策特別緊急事業による堤防整備等が完成し、治水安全度が向上したものの、気候変動等によって水災害は頻発・激甚化の恐れもあり、水害リスクは依然として残ります。

そこで、大洲市における水害リスクを踏まえた防災まちづくりの推進を定着・継続する目的として、令和5年度より地元高校生（大洲高校、大洲農業高校、長浜高校）と東京大学学生のワークショップや地域住民の方々を対象とした検討状況の報告会を実施しています。

この瓦版では、今年度に「肱川地区」・「東大洲地区・長浜地区」を対象とした2回のワークショップを行いましたので、ご報告致します。

地元高校生と東大生によるワークショップを今年も開催！

11月9日（土）、11日（月）と12月7日（土）、1月18日（土）に、大洲市にてワークショップが開催され、大洲高校・大洲農業高校・長浜高校の生徒、東京大学の学生、行政関係者ら約70名が参加しました。スタディツアーを通して将来の防災まちづくりについてみんなで考えました！



水害リスクを踏まえた防災まちづくり ～若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲をみらいへ～



主催 四国地方整備局 大洲河川国道事務所

共催 東京大学 工学部社会基盤学科、大洲市、愛媛県

スタディツアー

11月のWSでは、^{ワークショップ} 肱川上流の鹿野川ダムを見学。肱川支所にて被災体験談を聞きました。



橋本さん

仮設住宅周辺の四季の花々に癒されたというお話が印象的でした



三瀬さん

談話後は学生たちと熱心に質疑応答が交わされました!



肱川地区

笹木さん



鹿野川ダム内部

広い!

12月と1月のWSでは、肱川中流の東大洲地区において、国・県・市が一体となって進める都谷川の内水対策について説明を受けた後、下流の長浜大橋や長浜港埋立地エリアを見学しました。

東大洲地区



大洲河川小谷課長



愛媛県澤田課長



大洲市 山本課長補佐

行政の皆様、ありがとうございました! もっと、行政と住民の連携を高めて!



大洲市 村上主幹

長浜地区の水害リスクや将来のまちづくりについて楽しく学びました!



長浜地区

グループワーク

スタディツアーでの学びを生かし、流域治水対策として『自分たちにできることは何か?』や将来の“住まい方”について考え、私たちが描く大洲市の将来像を話し合い、共有しました。

肱川流域における自分事化 ～自分たちができる流域治水対策は?～

- ・ 知る：水害リスクを学び共有し、伝承する“場づくり”
- ・ 肱川流域全体でのつながりをみんなで深める
- ・ 事前準備：避難場所や防災バッグ等の日々の備え
- ・ 地域の人とつながる：避難カードの作成や日々のコミュニケーションを大切にする、行政と住民がつながる



3月8日の報告会で成果を発表します!



若い世代が描く将来像

- ・ 全ての人が仲良く防災意識が高いまち ～これからも住み続けたい!～
- ・ 平時と災害時をつなげるたまり場 ～避難所を日常的な施設にする、たまり場、避難所をよりわかりやすくする～
- ・ 短期と長期を考えたまちづくり みんなが安心して暮らせるまち
- ・ 災害が起きても安全・安心できるまちづくり
- ・ みんなの顔が見えるまち (魅力、誇り)

長浜高校の校是『^{こうらんやいそう} 肱嵐晴昊』
(肱川嵐の吹き荒れた日は必ず晴天になる。
明日を信じて今日を努力しよう!)
みんなの思いが必ず実現できるように
これからもがんばっていきましょう!



東京大学 羽藤先生

のっちゃんねる!!

ふれあい会館から
みんなを労うような夕日の絶景が...!!

2日間、おつかれさまでした!

次回も取組結果を報告します!

高校生と大学生が
一緒に考える
肱川流域の未来

水害リスクを踏まえた vol.4 防災まちづくり 肱川流域編



～ 若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲をみらいへ～



若い世代を中心に
防災まちづくり実施中

行政と共に地元高校生と東大生による報告会を今年も開催！

肱川流域では、甚大な被害が発生した平成 30 年 7 月豪雨を契機として、緊急的な治水整備事業が実施され、令和 6 年 5 月末に河川激甚災害対策特別緊急事業による堤防整備等が完成し、治水安全度が向上したものの、気候変動等によって水災害は頻発・激甚化の恐れもあり、水害リスクは依然として残ります。

そこで、大洲市における水害リスクを踏まえた防災まちづくりの推進を定着・継続する目的として、令和 5 年度より地元高校生（大洲高校、大洲農業高校、長浜高校）と東京大学学生のワークショップや地域住民の方々を対象とした検討状況の報告会を実施しています。

令和 6 年度の報告会では、①行政や若い世代による取組紹介、②肱川流域の関係者によるオープンハウスの実施、③肱川流域の未来を語るパネルディスカッションを行い、参加者同士が交流しながら地域の防災について考える機会となりました。



今回もコーディネーターは
東京大学の羽藤先生！

水害リスクを踏まえた防災まちづくり ～ 若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲をみらいへ～



主催 四国地方整備局 大洲河川国道事務所
共催 東京大学 工学部社会基盤学科、大洲市、愛媛県

①取組紹介

行政からは、肱川流域の特性や東大洲地区の水害リスクについての取組が紹介されました。

若い世代からは、本年度に実施した「防災まちづくりワークショップ」の取組が紹介されました。



大洲河川国道
小谷課長



東大生と高校生代表

②オープンハウス

各ブースにて、肱川流域の関係者による取組が紹介され、様々な立場を越えて、熱心なやりとりが交わされました。

みんなで自由にブースを回りながら見て聞いて学べる場を作りました！



行政ブース

シミュレーション結果に興味津々

都谷川流域における水害対策の取組



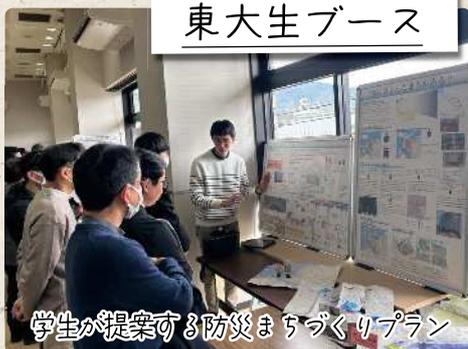
高校生ブース

スタディツアーなどを紹介



防災地理部ブース

各高校での活動を紹介



東大生ブース

学生が提案する防災まちづくりプラン



語り部ブース

消防団の矢野さん、亀田さん



地元 YouTuber の大木さん

③パネルディスカッション

テーマ① オープンハウスを体験して

- ・ 行政の取組など知らないことを学べた
- ・ 実際に被災体験談を聞くことができ共感できた
- ・ 他の高校の活動を知ることができ、今後に生かしたい



行政の若手職員と学生の代表が集結！

テーマ② 高校生の被災体験から

- ・ 地域と協力して助け合うことの大切さを感じた
- ・ 事前に避難場所や持ち出すものなど具体的に家族で話し合うことが大事
- ・ 次世代の子どもたちにこの体験を伝えていきたい

被災時は小学生...



大洲高校
園さん

大洲農業高校
松下さん

テーマ③ 大学生からの提案

- ・ 商業施設（アクトピア）を防災交流拠点に
- ・ 車の避難計画の重要性について

アクトピアがなくなり集う場がなくなった

気軽に防災を学べる場所が欲しい

『場が欲しい問題』切実！

テーマ④ 行政との対話

- ・ 防災意識を日常化できる取組を考えていきたい
- ・ 小学校の防災教育（出前授業）などで高校生も先生役で参加できないか等、次世代への取組を応援したい
- ・ 場を作るというハード面だけでなく横のつながりをまちづくりに反映していきたい



三宮大洲市長

若い方からの瑞々しいご意見感謝します！

肱川流域の防災まちづくりを地域みんなで語り、つくりあげていきましょう！